

- 第3回定例市議会 大雨災害状況を行政報告…………… 2 P
- 第3回みんなの生活展…………… 3 P
- いよいよ国勢調査。もう届きましたか。調査票…………… 3 P
- 記録的豪雨 市内を直撃 治山・治水対策を総点検…………… 4・5 P
- 郷土史探訪⑧ 町の地名を訪ねて…………… 6 P

広 報

# のほへつ

●No. 311 ●昭和55年10月1日発行 ●発行/北海道登別市●編集/総務部公聴広報課●印刷/中西印刷



試運転で幌別駅に停車した、L特急ライラック

## 札幌—室蘭間 今日から電化開業

L特急・快適な乗り心地

五十三年六月から電化工事が進められていた、国鉄千歳・室蘭線の工事が完了。すでに試運転を重ね、十月一日から電化開業しました。

新ダイヤで新登場する781系L特急は、寒冷の本道向けに国鉄が総力を傾けて開発した最新鋭の交流専用特急列車で、ゆったりとしたシートに加え、震動音がほとんどない快適な乗り心地が自慢です。

またL特急には、これまでの特急とちがいで自由席が多く、特急料金も室蘭—札幌間は、特定区間として急行料金より百円高い八百円となっています。

一日七往復の運行ですが、このうち四往復が幌別駅に停車するほか、三本が旭川行きとなっています。このほか、ローカル用電車として711系近郊型電車もお目見えします。

国鉄では、電化開業を記念して一日から、千歳・室蘭本線電化開業記念特定特急券（八百円）を幌別駅、登別駅で発売しています。

10 1980 . 1

# 大雨災害状況を行政報告

## 第3回定例市議会

昭和五十五年第三回定例市議会は九月十一日から十九日までの会期九日間で開かれました。

この定例市議会では、低気圧による大雨災害状況報告など報告十件、五十五年度一般会計補正予算など議案十四件、推薦一件の合計二十五件について審議され全案件が可決または承認されました。

それでは、主な内容についてお知らせします。

### 大雨災害の被害総額は三十三億九千万円に

報告では、株式会社登別振興公社の第四期決算、第五期事業報告や定期監査の結果報告などが行なわれたほか、八月二十九日から三十一日にかけて市内全域に大きな被害をもたらした、低気圧による大雨災害の状況が報告されました。

降りはじめからの雨量は五百五十五ミリという記録破りの集中豪雨で、昭和三十六年大災害の雨量三百ミリを上回るものでした。

このため、床上浸水五百四十四戸、床下浸水千三百三十戸にものぼったほか、山崩れなどで重傷者一人、軽傷者五人を出し、住宅の全壊・半壊・一部破損を合わせ四十二戸という大きなツメ跡を残しました。

九月十一日現在の被害総額は、土木被害を中心に、災害対策などの経費を含め三十六億八千九百八十九万二千円となりました。

また、災害応急対策にともなう補正予算一億六千五百二十三万三千円の専決処分報告が行なわれ、



富士町に建設される、老人福祉センター完成予想図



オープンした中央町買物駐車場

### 福祉灯油・富士町大排水路の改修などを予算補正

昭和五十四年度登別市水道事業会計決算の認定

監査委員の意見をつけて提案し決算書の通り認定されました。

昭和五十五年一般会計補正予算

今回の補正は、一億六千五百五十四万四千円を追加するもので、主なものは次のとおりです。

- ▽臨時福祉灯油給付経費 二百五十二万四千円：老人世帯など生活困窮世帯を対象に、十八リットル毎三伍分を十一月月上旬に支給します。(一世帯当たり四千円)
- ▽登別市買物駐車場管理運営委託料 三十万五千円：同駐車場の完成にともない、登別商工会議所へ管理運営を委託します。
- ▽私道舗装排水助成金 三百萬圓：自治会や期成会などに対し、事

### 市営住宅の入居基準を緩和・敷金も割安に

市営住宅条例の一部改正

今回の改正は、老人や身体障害者などの単身者の入居を認めるとともに、入居敷金をこれまでの三ヵ月分から二ヵ月分に改めました。

- ◎登別市都市下水路条例の制定
- ◎登別市警別二系統の都市下水路を定めるとともに、占用許可など維持管理条例を定めました。
- ◎登別市買物駐車場条例の制定

中央町五丁目六番地に乗用車収容能力四十三台で設置された、同駐車場の管理および駐車料金を定めました。

二時間以内の駐車料金は無料ですが、その後は三十分までごとに百円の料金を徴収します。

- ◎土地の無償譲渡
- ◎登別港町の雑種地および原野一万五千五百五十三平方メートルを登別漁業協同組合に無償譲渡することが可決されました。この土地は、漁具の保管庫や作業場、船揚げ場など漁港の背後地として漁業の振興に活用されます。

市道路線の認定

十五路線、延長二千二百一十一メートルが市道として認定されました。

- ◎教育委員会委員の任命
- ◎二委員の任期満了にともない、須賀武夫氏(再)、阿部隆雄氏の任命について同意を求め、同意することに決しました。
- ◎固定資産評価審査委員会委員の選任

玉川英三郎氏(再)の選任について同意を求め、同意されました。

- ◎登別市農業委員会委員の推薦
- ◎議会推薦委員に欠員が生じたため、藤原孝明氏を補充推薦しました。
- ◎老人福祉センター新築(建築主体)工事の請負契約
- ◎総事業費二億二千三百万円、建築主体工事費一億六千二百万円で建設されます。

場所は富士町七丁目の旧市役所飯庁舎跡地、完成見込みは三月下旬です。

大排水路を道とともに年次計画で整備します。市では、今年度延長百メートルを実施します。

- ▽中央通り改良受託事業費 九千三百八十六万円：美園町イーストショップ前から黒田薬局前までの区間を整備するため、国・道の補助を受け今年度は用地買収、移転補償などを行ないません。
- ▽郷土資料館建設事業費 一千万円：幌別ダム下の一角に建設する同館の建設事業費に追加し、一億円としました。このなかには、市民憲章碑建設費二百万円が含まれ完成は来年三月下旬の見込みです。

すみわたる秋空のかがやき、目にしみるような赤い羽根の色——明るく、みんなそろって幸せにと、おたがいの、あたたかな心を持ちよる国民のたすけあいの姿——それが共同募金です。

今年も10月1日から全国一斉に運動が展開されますが、立派なみのりを結ぶよう、市民のみなさまのご理解をお願いします。

やさしさを  
隣人に



第三回 みんなの生活展

「ゆたかな明日のために  
生かそう市民生活安定条例」

市では、今年四月一日に、消費者の保護ならびに消費者の利益の擁護と増進などを目的に登別市市民生活安定条例を制定しました。そこで、第三回みんなの生活展は、この条例を多くの市民の方々に知ってもらい活用していただくため、各団体と協同で、消費者の保護を重点にパネル展示や実演などをを行います。

日時 十月十六日、十八日 午前十時から午後四時まで  
場所 中央公民館

展示の内容

- ▽条例コーナー(消費者苦情相談)
- ▽食品・洗剤・衣コーナー
- ▽地域認証食品と防腐剤の表示
- 食品についての学習会およびフィルム上映。肌着試着の結果発表

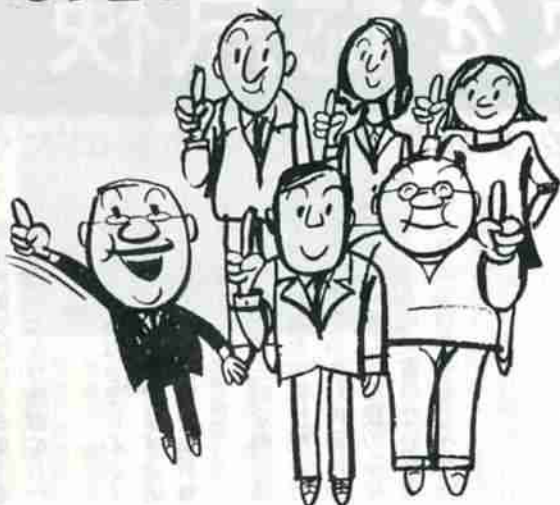
消費生活相談  
のお知らせ

市民の方が、日常の買物などで不良商品、食品などの品質、規格表示、価格、量目または商品やメーカー、販売業者などの衛生管理アフターサービスなどが悪く不利益をうけたり、疑問点をおもちの方は、次の日程により「消費生活相談」を行ないますのでご利用ください。

なご当日は、専門知識を持つ相談員がみなさんの相談をお受けします。

- 実施日・場所
- ▽十月一日(水) 美園婦人研修の家(電話6局6065)
- ▽十月三日(金) 若草婦人研修の家(電話6局9919)

いよいよ国勢調査。  
もう届きましたか、調査票。



10月1日は国勢調査の日です。9月30日までに、すべてのお宅に調査票をお配りすることになっています。あなたのお宅に、調査票はもう届きましたでしょうか。「調査票の記入の仕方」をよく読まれたうえ、記入もれがないよう注意してご記入ください。10月5日までに調査員が回収に向いますので、できるだけ直接、手渡していただけますよう、ご協力ください。

10月5日までに調査員が回収に向います。

- 分測定(コップに半分くらい分量を持参してください)
- ▽プロパンガスコーナー
- ガス警報機の実験
- ▽電動コーナー
- 上手な電話の使い方、コンピュータによる運勢判断
- ▽貯蓄コーナー
- ▽その他の催し物
- お米フェア(お米の無料配布)、即売コーナー、不用品バザール、牛乳の試飲会

- ▽十月六日(月) 警別公民館(電話6局8823)
- ▽十月九日(木) 栄町婦人研修の家(電話6局9918)
- ▽十月二十日(月) 富浜老人憩の家(電話6局6959)
- ▽十月二十二日(水) 桜木婦人研修の家(電話5局1244)
- ▽十月二十七日(月) 富浦生活館(電話3局1140)
- ▽十月二十九日(水) 登別公民館(電話3局1131)
- 時間 いずれも午前十時から午後三時まで
- 連絡先 消費生活相談室(電話5局2111内線254、327)へおたずねください。

中小企業特別融資制度  
金利が改定されました

国で行なう経済政策にともない市の中小企業特別融資制度の利率を、九月十日から次のとおり改定いたしました。

●融資利率

「一年未満六%、一年以上六・九%」を「三年未満七%、三年以上七・五%」に改定。

制度の内容は次のとおりです。融資ご希望の方は、市内の金融機関窓口にご相談ください。

問い合わせは市役所商工振興係へ(電話⑥2111内線256)。

登別市中小企業特別融資制度 (昭和55年9月10日現在)

融資名	融資対象	用途	限度額	期間	利率	担保・保証人	取扱金融機関	備考
一般事業資金	市内に住居及び事業所を有し、引続いて1年以上同一事業を営んでいる中小企業基本法第2条に定める中小企業者 ・市税を完納していること。 ・取引停止処分を受けていないこと。 ・許可、認可の必要な業種にあっては、許可、認可を受けていること。	運転	500万円	5年	3年未満 7.0%	取扱金融機関の定めるところによる。	室蘭信用金庫・北海道銀行・北海道相互銀行・室蘭信用金庫・伊達信用金庫の市内各支店(ただし室蘭信用金庫については高砂支店を含む)	原則として割賦償還
		設備	1,000万円	7年	3年以上 7.5%			
団体資金	市内に住居及び事業所を有する中小企業団体の組織に関する法律第3条第1項に定めるものであること。 ・市税を完納していること。 ・取引停止処分を受けていないこと。	運転	2,000万円	5年	"	"	"	・原則として割賦償還 ・利子補給1.5% ただし設立後3年未満の中小企業団体に限る。
		設備	3,000万円	7年	"	"	"	
独立立開資金	市内の事業所に勤務し、事業主の推せんを受けて同一事業を市内で独立開業しようとする者または市内において独立開業するための事業計画及び経営能力について市長が適当と認めたる者	運転	300万円	3年	"	"	"	・割賦償還
		設備	500万円	5年	"	"	"	・据置6カ月
小口事業資金	市内に住居及び事業所を有し、引続いて1年以上同一事業を営んでいる中小企業信用保険法第2条第2項に定めるものであること。 ・一般事業資金の借入が困難なものであること。 ・市税を完納していること。 ・取引停止処分を受けていないこと。 ・許可、認可の必要な業種にあっては、許可、認可を受けていること。	事業資金	250万円	2年	"	信用保証協会の無担保無保証人保証扱いによる。	"	・割賦償還 ・利子補給1.0%

(注) ・申込に当っては、市所定の申込書を使用し、市発行の納税証明書添付のこと。  
・設備資金については、見積書その他必要とする書類を添付のこと。

記録的豪雨、市内を直撃

# 治山・治水対策を総点検

各地から見舞金・救援物資相次ぐ



土砂が崩れ、路肩は大きくえぐられた国道36号線、富浦付近

## 雨量は、五百五十五ミリを記録 家屋全半壊25、重軽傷6

秋田沖低気圧による集中豪雨は市内に大きな被害をもたらしました。  
被災者のみなさまに心からお見舞いを申し上げますと、ともに一日も早い復興をお祈りいたします。  
今号では、第三回定例市議会で行政報告の中からの主な内容についてお知らせし、市民のみなさんとともに災害のない都市づくりについて考えてみたいと思います。

登別市内は、八月中旬からの断続的な雨に加え、八月二十八日から三十一日にかけて平地部を中心に低気圧による集中豪雨に見舞われ、各地で被害が続発しました。降りをはじめからの雨量は平地部で五百五十五ミリ、一時間当たりの最大雨量四十二ミリ、山間部でも二百三十二ミリに達しました。このため、宅地造成地をはじめ急傾斜地で地盤がゆるみ、すでに飽和状態になっていたところに、八月三十一日未明からの集中豪雨

によって土砂崩れを誘発し、平地部でも多量の雨水によって低地帯で浸水の被害をもたらしました。被災は市内全域におよび、九月十一日現在の被害状況は次のとおりです。

- ▽重傷一人　▽軽傷五人
- ▽住宅被害
- ▽全壊十四戸　▽半壊十一戸
- ▽一部破損十七戸　▽床上浸水五百四十四戸　▽床下浸下千三百三十戸　△計▽千七百十六戸
- このほか土木被害を中心に被害額の合計は三十五億九千九百九十二千円にのぼり、災害対策などの経費九千八百八十万円を加えた、被害額総計は三十六億八千九百八十九万二千円となりました。

## 荒れ狂う自然の猛威 被害は市内全域に

主な被害の発生状況を見ると、富浦では、国道36号線の土砂くずれやのり面崩壊が相次いで起こり、路肩決壊のため交通不能となり、旧国道を応急復旧した上で迂回路としました。

また、富浦町全域が泥流に飲み込まれ、その被害は住宅・事業所の全壊・半壊や床上浸水五十二戸、床下浸水十四戸にのぼりました。

さらに、国鉄室蘭本線は富浦トンネル入口などの山崩れのため、三十一日の早朝から九月一日の午後八時まで全面不通となりました。片倉町では、山崩れが起き住宅の全壊、半壊が相次ぎ、重傷、軽傷の人的被害が発生しました。

また、中央町を中心に観別地区の各地で排水があふれ、道路が冠水し床上浸水二百十三戸、床下浸水五百二十戸などの被害が出ました。

新生町では、地すべりのため住宅の全壊があり、避難途中に軽傷者が出たほか、新生町、若山町、富岸町、大和町、緑町および桜木町の各所に床上、床下浸水の被害

がありました。

美園町、若山町で山崩れや地すべりによる住宅の全・半壊、一部損壊などが起き、軽傷者を出しました。

鷺別町、美園町および若草町の低地帯全域で床上、床下浸水となったほか、市道の舗装決壊、歩道陥没などがあり、上鷺川の堤防が一部決壊しました。

## 災害救助法が適用に 被災世帯に見舞金

被災世帯に見舞金

市では、災害対策本部を設置し、厳重な警戒を行ないましたが、八月三十一日未明から雨量が多くなり、危険な状態となってきたため、市職員全員を出動させ、避難の手配と避難勧告を周知するとともに避難救助や応急措置にあたりました。

また、自衛隊に派遣を要請するとともに、被害状況から災害救助法を申請し、適用を受けました。

翌九月一日から、復旧作業を前

日に続いて実施するほか、市内全域の被害状況調査を行ない、床下浸水地域には便槽くみとりと、消毒剤を散布するなどの防疫に努めました。

また、市役所一階ロビーに「災害対策相談室」を設け、被災者の相談窓口としました。

今回の災害にとまない、市では床上浸水以上の被災者に対し、一世帯六枚を限度に豊代の半額補助（限度額二万一千円）を行ない、



土砂の取り除き作業＝片倉町



地元選出の国会議員をはじめ、道議会、市議会議員団による視察が行なわれました（写真は、富浦町内を視察する道議会議員団）

九月十七日現在で三百二十八世帯に総額六百六十二万四千円の補助金を交付しました。また、床上浸水以上の被害を受けた各家庭に、社会福祉協議会とともに見舞金をお届けしました。見舞金は全壊の被害を受けた家庭には十万円、半壊五万円、一部

### 幹線排水路の整備など見直される都市づくり

今回の災害は、死者十一名や鉄橋の流出など生々しい被害を出した昭和三十六年大災害の雨量をはるかに上回る記録的な雨量となりました。市では、三十六年災害などの教訓を生かし、これまで多額の防災費を投入して河川改修や治山事業を進めてきましたが、不備な所が

各所に残っており、今後、関係機関と協議を進め、恒久的な対応をはかってまいります。浸水による被害は、本市特有の低地帯のため、特に排水状態が悪く市内全域で発生しました。

このため、現在工事中の若草町地区都市下水路を早期に完成させるとともに、幹線排水路の全体的

## 愛の善意ありがとうございます

各地から見舞金をはじめ、救援救護物資を寄せていただき誠にありがとうございました。

見舞金は九月十七日現在で八百五十万三千九百三十三円にのぼり、市では、社会福祉協議会とともに

これに上積みし被災世帯に災害見舞金としてお届けいたしました。



各地から続々と救援物資が届けられました

また、救援・救護物資も数多く寄せられ、避難所などで活用させていただいたほか、被災世帯にもお届けいたしました。

九月十七日現

### 災害見舞金

在、見舞金、救援・救護物資を寄せていただいた方々は次のとおりです。（敬称略）

- ▽間組札幌支店
- ▽洞爺村
- ▽洞爺村議会
- ▽新潟県豊栄市
- ▽札幌市
- ▽札幌市社会福祉協議会
- ▽豊浦町
- ▽飛鳥建設札幌支店
- ▽日本製鋼所室蘭製作所
- ▽電気工事西川組
- ▽鈴木テント製作所
- ▽長崎屋室蘭店
- ▽住宅金融公庫札幌支所
- ▽東急建設札幌支店
- ▽日鋼工営
- ▽北海道銀行
- ▽拓北電業
- ▽北海道拓殖銀行
- ▽黒沢友義
- ▽苫小牧市社会福祉協議会
- ▽苫小牧市民生委員協議会
- ▽日本赤十字社苫小牧支社
- ▽室蘭信用金庫
- ▽天理教北海道教務支庁
- ▽金門製作所北海道支店
- ▽石井組土建
- ▽北海道相互銀行

- ▽読売新聞登別支部
- ▽大滝村
- ▽ホームストア
- ▽室蘭ハイヤー
- ▽長正司
- ▽目黒ヤエ
- ▽共同組合
- ▽アイヤデパート
- ▽誠屋商事
- ▽登別建設協会
- ▽登別工事業協会
- ▽全日自労登別支部
- ▽同協同組合
- ▽全日自労登別支部
- ▽同協同組合
- ▽伊達市
- ▽伊達市社会福祉協議会
- ▽藤川組
- ▽三栄設備
- ▽富士建設
- ▽全国市議会議長会
- ▽登別文化幼稚園
- ▽中登別老人クラブ
- ▽百寿会
- ▽北海道新聞室蘭・登別販売所
- ▽北海道新聞室蘭・登別販売所
- ▽大竹組室蘭営業所
- ▽安部工業所札幌営業所
- ▽檜崎造船
- ▽函館・札幌・小樽・室蘭旭川・釧路四十雀チーム
- ▽旭川市サッカー協会
- ▽日本共産党別居住支部
- ▽北海道新聞社室蘭支社
- ▽伊藤組土建室蘭営業所
- ▽登別ガス共同組合
- ▽登別ロータリークラブ
- ▽登別市職員自治

- ▽振興会
- ▽自民党登別支部
- ▽柏木婦人部
- ▽日本赤十字社北海道支部
- ▽田中管工
- ▽フジタ工業
- ▽室蘭民報社
- ▽登別技能協会
- ▽登別市建築業協同組合
- ▽登別左官組合
- ▽登別砂利協同組合
- ▽洞爺村社会福祉協議会
- ▽滝川婦人ボランティアクラブ
- ▽ホームストア労働組合
- ▽日本赤十字社北海道支部
- ▽日本専売公社室蘭営業所
- ▽第一流本館
- ▽登別ランドホテル
- ▽登別徳間ビューホテル
- ▽パーハレム
- ▽花月堂
- ▽初音食堂
- ▽登別プリンスホテル
- ▽ふくやみやげ店
- ▽松屋商店
- ▽登別温泉ホテル万世閣
- ▽佐々木一
- ▽菊地力雄
- ▽青柳光吉
- ▽相沢澄雄
- ▽森元晋吉
- ▽坂井晴一
- ▽長崎屋室蘭店
- ▽森水乳業札幌支店
- ▽めいんばう
- ▽西村食品
- ▽北海道ダイエー
- ▽ホームストア
- ▽日本共産党登別支部
- ▽NHK厚生文化事業団・室蘭放送局
- ▽北海道拓殖銀行室蘭支店
- ▽北海道電力室蘭支店
- ▽登別郵便局
- ▽花王石鹼札幌営業所
- ▽読売新聞社北海道支社
- ▽北海道新聞室蘭・登別販売所
- ▽日本製鋼所
- ▽日機製パン室蘭営業所
- ▽ロパン
- ▽蘭東専門店会
- ▽室蘭信用金庫
- ▽日本共産党苫小牧支部
- ▽苫小牧市社会福祉協議会
- ▽資生堂函館販売
- ▽金田牛乳店
- ▽室蘭民報社
- ▽大原秀夫
- ▽佐々木辰己
- ▽工藤鉄太郎
- ▽宮崎キヌ
- ▽清水旅館
- ▽北海道ソーダ製氷工場
- ▽北海道コンクリート工業
- ▽山陽国策パルプ勇弘工場
- ▽王子製紙苫小牧工場



幸町国鉄線路付近の泥土、流木を取り除く復旧作業

な整備が急務となっています。また、海拔ゼロメートル地帯の緊急ポンプアップに対処します。

傾斜地の崩壊は最少限度にとどめることができたが、復旧にあたっては現状回復にとどまらず、恒久的対応をはかり

ます。住宅団地造成による地すべりや宅地間の石垣の崩壊は、法令の規制以前のものが多く、充分な施行をしていないものが多く被害にあっています。

市では、技術的な指導や復旧費のあっせんなどを行っていますが、個人の財産は個人で守るという考えから、土地所有者が整備しなければならぬ問題と

なっています。このほか、鉄道横断部分の河川や排水路がせまくなっていること

によって、災害が大きくなった地域もありますので、関係機関と協議を進め、早期解決をはかっています。

このたびの秋田沖低気圧がもたらした集中豪雨に対し、被害を受けた被災者みなさまに心よりお見舞い申し上げます。

市では、これを契機に非常災害に負けない都市づくりに一層積極的に取り組んでまいります。

また、救援活動や復旧作業にあたられた市民のみなさまに感謝を申し上げますとともに、被災者のみなさまが一日も早く立ち上がっていただくことをお祈りします。

# 空き巣にご用心

10月11日~20日

全国防犯運動



行業の秋をむかえ、家族で外出する機会が多くなりますが、例年この時期には「あき果ねらい」をはじめ「忍込み」「事務所荒し」などの事件が多発します。

「あき果ねらい」や「忍込み」は、ややもすると居直り強盗殺人などの凶悪な事件に移行する危険

性をともなっています。

十月十一日から二十日までの十日間は「全国防犯運動」が行われます。

ちよつとした留守にもカギをかける——空き果ねらいを防ぐために忘れてはならないことですが、同時に、合いカギによる侵入やこじあけを防止するためにも、とくに玄関のカギをもう一度見直してみましよう。

▽シリンダー式錠など性能のよいものを取りつける。

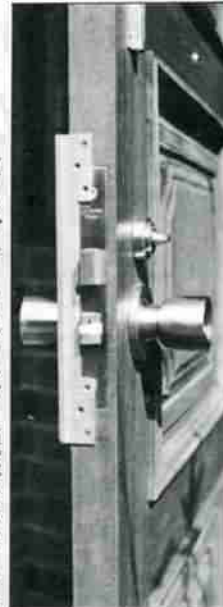
▽主錠のほか、もう一つ補助錠をつける。

▽窓やベランダには、カギつきクレーセント錠とカギつきファスナーロックをつける。

▽カギは忘れずにつけ、防犯ブザーなどを取りつけガードをかためる。

▽留守にする時は、隣り近所にひと声をかける。

▽貴重品は分散して保管する。



ガードプレートとシリンダー錠で固いガードを

## しめたはず しまったはずでも もう一度

### 国有林に入られるみなさんへ



函館営林支局 室蘭営林署

すみきつた空気と爽やかな秋を迎え、一段と紅葉がはえわたる季節になりました。

この時期は、みなさんがキノコ取り、登山など、野や山へ出かける機会が多くなります。

例年、夏の間山奥にいた、山オヤジ（ヒグマ）が、冬眠前のエ

サを求めて、人里近くに出没します。

しかも、食欲が盛って性質も狂暴になっているのが特徴です。

どうぞ、キノコ取りなどで国有林に入られるときは、ヒグマによる不測の事故がないようにするために、次のことを守ってください。

- ▽最寄りの営林署、担当区事務所事業所に立寄り、入林者名簿に記入しヒグマについての情報などを聞いてから入林しましょう。
- ▽入林するときは、できるだけ二人以上で行き、一人歩きはやめましょう。
- ▽昼食後の残飯などは、持ち帰って山に残さないようにしましょう。
- ▽秋は雨の多くなる時期ですので、林道の上に土砂が崩落したり、欠

# 郷土史探訪

50

## 町の地名を訪ねて

私達の住んでいる登別市は、現在三十七町という多くの町に分れています。

昭和三十七年四月で、それ以前は十五の町名しかありませんでした。

町名の変更から今日まで七年たちましたので、新しく住みついた人達にも自分の住んでいる町の特徴を肌で感じ、戦前から住んでいた人達には、地域によっては必ずしも昔から由来のあるなれた地名でないにしても、親しみのあ

る町名となりつつあるのではないのでしょうか。

今回から、三十七の町名の由来を訪ねながら、町に埋もれている

歴史をできるだけ掘りおこしてみたいと思います。

まず三十七町をもつ「登別」が「幌別」という名称から変更したのは昭和三十六年のことで、町から市に変わったのは昭和四十五年です。

町名を「幌別」から「登別」に変えたのは、いうまでもなく東洋一を誇った登別温泉の知名度から町名を代表させることになった訳です。

登別温泉が全国的に有名になったきっかけは、明治三十七・三十八年の日露戦争の時に、陸軍省から第七師団の療養所に指定され、多くの傷病兵や見舞客が全国から集まって宣伝され、飛躍的に発展した時からです。

当時、全国からくる手紙の住所も、北海道胆振国幌別郡登別村字湯ノ滝（または温泉場）と書くのが本場の住所ですが、それが「北海道温泉場」と書くだけで九州からの手紙でも登別の温泉に着くほど知られるようになっていました。

北海道の開発とともに、明治四十年には日本製鉄、日本製鋼所、幌別鉱山の開設、その他札幌など道内各地に来る政界、財界、文化人からは、必ず登別の温泉に立ち寄るので、彼らの口からも「登別」の名が知られるようになり東北第一の温



馬鉄出発風景=大正初期の登別温泉

泉場になります。

「登別」の地名は、アイヌ語の「ヌブルベツ」色の濃い川という意味で、この名称がいつから名付けられたのかは明確ではありませんが、江戸時代の中過ぎ一七五〇年以降の古文書には、ノホルベツ、ノブルベツなどという地名で時々でています。

多くの疑問もあるところですが、円空の残した「鉈作り親音」の温泉由来の歴史からでは、千六百年代に「のぼりべつ」の名もみられますが、いずれにしても「登別」の地名も江戸期までさかのぼる古い地名です。

また「登別」になる前の「幌別」の地名の歴史は古く、今から四百年前の文禄二年、松前慶広が蝦夷が島（北海道）の島主であるという朱印状を豊臣秀吉からもらった時に、差し出した書状の中でイブりに六領をおきました。六領の中に「ノホルベツ」という地名があり徳川の天下になってからは、徳川家康に蝦夷島三絵図を献上し、その中に「幌別場所」の名前がのっていますので、このあたりがノホルベツの名で最も古いものでしょう。

世界地図の上で、それも外国人に紹介されるのはめずらしい事ですが、鎖国時代に我が国と交易していたオランダのマルテン・ド・フリース船長は蝦夷地を探索した最初の人で、一六四三年松前から根室までの調査の中に、「パラピト」とよばれる地名で「ノホルベツ」を紹介しています。

その後は、江戸時代を通じて文献からでてきます。この時代驚別から登別地方の中心的商場で幕府直轄時代にはノホルベツにも会所がおかれました。

登別市郷土文化研究会 宮武記

## 婦人生活講座の開催時間を変更しました

本紙九月十五日号でお知らせしました、婦人生活講座のなかで、10月15日（水）に行なわれます講演「家庭教育の問題点」の開催時間を午後七時から変更いたします。

# 声



## 市民の

私は、市の移動図書館車「こぐま号」を毎回利用している主婦です。

毎月、広報のほりべつで新着図書案内を見ておりますが、新着図書は「こぐま号」の中では見るこ

とがありません。登別市は、他の市とくらべると読書熱が高いと聞いておりますので、今後はもっと「こぐま号」の登録図書の充実をお願いいたします。(市内新生町三丁目二百二十五番地 上杉 諒子さん)

に登録できる図書は、約二千冊と限られております。そのため、利用される市民の方々に対し、不便をおかけしていることもあるかと思いますが、今後さらさら移動図書館車および本館の図書の充実を図るよう努力をしていきたいと考えております。また、市民の皆様にはできるだけ利用しやすいように、将来、個別登録、登録温泉地区に図書館分館を設置するよう検討を進めてまいります。

多額の費用を投入して、入居率が低いのでは、不経済であり、不合理だと思っておりますので、地方公共団体は、国に実情を知ってもらい入居基準を緩和するよう働きかけてほしいと思います。(市内札内町七十三番地 佐藤 弘子さん)

現在の公営住宅の入居収入基準額は、昭和五十四年十一月二十四日付で改正された、国の公営住宅法で規定されている額を基準額としたものです。

第一種で九万五千円以下、第二種で五万五千円以下(いずれも月収で、給与所得控除および扶養控除後の額)となつていますが、今後市では、毎年の所得増を考慮し国に対して入居基準を緩和するよう、ほかの地方公共団体と共に強く要望をしていきたいと考えております。

なお、当市の公営住宅入居率は百パーセントです。(建築部建築指導課)

## 文化短信

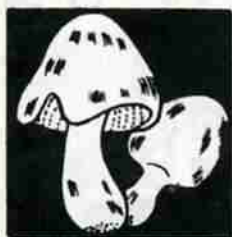
### 市民文化祭

#### 作品を募集

市民文化祭実行委員会では、「文化の日」の十一月三日を中心に市内の幅広い文化活動の成果を展示し、発表します。

市民文化祭は、市民の交流を深め、文化活動の向上を図ることを目的として行なわれ、今年で十六回目を迎えました。

今年も市民のみなさんの展示作



- 品を募集しますので、どしどし応募してください。
- 展示期間 十月二十三日～二十五日
- 作品の申し込み・問い合わせ先 市教育委員会社会教育課(電話5局2111内線349)
- 申し込み締切り日 八月十八日

## 行政相談

今年十月十二日から十八日まで、行政相談週間です。行政相談は、国の仕事について、行政相談委員にご相談ください。行政相談委員にご相談いただければ、親身になってお話しいたします。直接口頭でも、簡単なものは手紙、電話でも結構です。

など、役所のことの苦情を受け付けます。たとえば、私たちの生活の中で恩給や年金、国税、郵便、道路、河川、生活保護等についての苦情を行政相談委員にご相談いただければ、親身になってお話しいたします。直接口頭でも、簡単なものは手紙、電話でも結構です。

○相談申し込み・問い合わせ先 福祉事務所保護課保護係(電話5局2111内線294)  
○寄贈ありがとうございます  
ごさいます (敬称略)

## 身体障害者のみなさんに 更生・生活相談が行なわれます

市福祉事務所では、道身体障害者福祉協会登録支部の協力を得て更生相談と生活相談を行ないます。相談ご希望の方は、あらかじめ申し込みください。

更生相談の内容(実施科目/整形外科、耳鼻咽喉科、眼科) 更生医療の給付、補装具の交付と修理、手帳の新規および再交付、施設入所、障害年金の受給、その他。

○物品寄贈 佐々木義徳、貴正孝市、お茶のうえの、匿名古切手寄贈 大沼好男、上田商会、長田光史・真美・明子、国立登別病院患者一同、和田産業、田村哲也、木村ノブ、登別市役所

## 参加しませんか

### クラフト教室

楽しい手づくりで、おしゃれなセンスを発揮してみませんか。定員になりしだい締め切りますので、早めに申し込みください。

- 日時 十月二十二日・二十四日 十一月六日(午前十時～十二時)
- 場所 中央公民館
- 定員 三十名
- 内容 (1)定期入れ (2)コースター (3)キーホルダー

- ▽受講料 無料
- ▽教材費 五千元(工具代含む)
- ▽各自用意する物 タオル・小皿 三枚・習字小筆・ぼろきれ五枚
- ▽申し込み先 市教育委員会社会教育課(電話5局2111内線349)

▽生活相談の内容 生活および職業相談、その他 当日は、相談をお受けし、医師の診断が必要な方は、改めて指定された病院で診察を受けていただきます。

## 短歌・川柳・俳句教室

市文化協会では、市民文化祭開催期間中に初心者を対象に、次のとおり開催します。多数で参加ください。

- ▽短歌教室 十月二十日(月)
- ▽川柳教室 十月二十一日(火)
- ▽俳句教室 十月二十二日(水)
- ※開催時間は、いずれも午後六時から八時まで。
- ▽場所 中央公民館一号和室
- ▽講師 市文化協会会員
- ▽受講料 無料
- ▽申し込み方法 官製はがきに住所・氏名・年齢・職業を明記
- ▽申し込み先 市文化協会 市教育委員会 市文化協会 〒059-103(電話5局2111内線349)
- ▽申し込み締切り日 十月十五日

訂正 本紙九月十五日号でお知らせしました、老人健康診査の実施医療機関の中に、深瀬医院が漏れていました。追加してお詫びします。

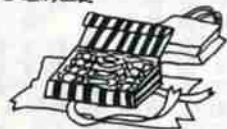
# みんなで協力して ごみをへらしましょう

過剰包装、食品の食べ残しなどはゴミを増やす原因になります。

空ビン、金属類、布類など店に戻せるものは戻し、利用できるものはゆずったり、つくり直して使用しましょう。

家庭はもちろん、公園、街、行楽地など、一人ひとりよごさないように心がけるのも、ゴミをへらすのにつながります。

### ● 過剰包装



### ● 食料品の食べ残し



# 不用品ダイヤル市



5局2111  
内線 257

### おわけします (売り)

セミダブルベッド、ロッキングチェア、うば車 (2人用)、バスオール、テント (6人用)、ポット式石油ストーブ

### ゆずってください (買い)

二段ベッド、うば車 (1人用)、オートバイ、女子用自転車 (20インチ)、婦人用3輪自転車、女子用自転車 (小学5~6年生用)、ベースギター、カラーテレビ (14インチ)、ジュースミキサー、ベッド用マットレス、ガス風呂釜、洗たく機、冷蔵庫

# 街路交通情勢調査に ご協力ください

私たちが住んでいる室蘭圏(室蘭市、登別市、伊達市)では、交通対策や交通計画策定の基礎資料とするため、みなさんが日頃の生活の中で自動車をどのように使っておられるかについて、自動車の最終的調査を行ないます。

- 調査でお聞きした内容は、目的以外には一切使用されませんので調査対象となった方のご協力をお願いいたします。
- 調査日 十月十六日(木)
- 調査内容 一日間の動き(午前三時から翌日の午前三時まで)
- 調査方法 対象者に調査票を郵送で配布し、郵送で回収。

## 家庭児童・母子相談

これまでの定例相談日に加え、相談窓口を常設し、みなさんのご相談にお答えします。

- 相談日・場所
  - ▽毎日午前九時から午後三時まで(祝日、日・土曜日を除く)
  - 福祉事務所市民相談室：担当相談員が面接にあたります。
  - ▽毎月第三木曜日、午後一時から三時まで(今月は十月十六日)

## 赤ちゃん相談

(3カ月児)

- 内容 医師による診察、計測
- 相談内容
  - しつけ相談、自閉症相談、養護保健相談、非行相談、登校拒否、心身障害、ことばの障害、児童施設入所、視聴覚障害、母のなやみごと、その他
- ※問い合わせ先 市民相談室(電話5局2111内線326)

## 老人大学

### 日程を変更

先にお知らせしました、十月二十日の老人大学の日程を次のとおり変更いたします。

- ▽日程 十月九日(木)
- ▽時間 中央公民館/午前十時

## 街頭献血のお知らせ

次の日程により街頭献血を行ないますので、市民のみなさまのご協力をお願いします。

### ● 十月七日(火曜日)

- ▽午前十時~十二時/堀合商店前(登別東町二丁目)
- ▽午後一時~四時三十分/ホームストア中央店前

## 畜犬の登録と 狂犬病予防注射

生活指導、栄養指導  
● 用意するもの 母子健康手帳、換えオムツ、バスタオル

● 日程  
▽10月22日：労働福祉センター(受付/11時15分~30分 対象/札幌地区の昭和55年7月出生児)

▽10月23日：鑑別公民館(受付/11時15分~30分 対象/札幌地区の昭和55年7月出生児)

秋の畜犬登録と狂犬病予防注射を次の日程で行ないます。犬を飼っている方は、この期間内にもれなく受けてください。

● 登録(年一回)  
生後九十日以上すべての犬が対象です。

● 狂犬病予防注射(年二回)  
生後九十日以上すべての犬が対象です。

● 登録料・注射料  
登録料 一頭 二千元  
注射料 一頭 千五百円

● 応診による注射の場合は、別に応診料(千円)が必要です。

● 登録および予防注射をしないで人畜に危害を加えた犬は、殺処分になることがありますので、必ず受けてください。

犬についての問い合わせは、市役所環境衛生課にご連絡ください。(電話5局2958)

10/14	10/13	10/9	10/8	10/7	10/6	月日
(火)	(月)	(木)	(水)	(火)	(月)	曜日
14:10 14:50	11:30 12:30	10:00 11:00	13:00 13:40	11:00 12:00	11:00 12:00	時間
新川町二丁目 三条建設前	西園地 親子地蔵前	緑町二丁目 津村商店前	山本商店前 千歳町六丁目 松庭次郎宅前	登別支所前 牧口商店前	小登別 中登別 総合グラウンドバス停横	実施場所
10/23	10/22	10/21	10/20	10/17	10/16	月日
(木)	(水)	(火)	(月)	(金)	(木)	曜日
9:00 16:00	13:00 14:30	10:00 12:00	10:00 12:00	11:10 12:00	11:50 12:10	時間
(対象の各戸を実施)	来馬・札内・川上地区巡回	美園町三丁目 ひまわり園前	美園町三丁目 若草町六丁目 高橋商店前	美園町三丁目 美園町二丁目 美園町一丁目	富浜一丁目 富浜児童館前 観音堂ノハラ前	実施場所